

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： ガードピレス微粒剤

会社名： 株式会社アグリマート

住 所： 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル

担当部門： 技術グループ

TEL. 03-5159-1711 FAX. 03-5159-1712

e-mail: agm-info@agrimart.co.jp

推奨用途及び使用上の制限 不快害虫用殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性 急性毒性(経口):区分4
急性毒性(吸入:粉じん):区分2
発がん性:区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露):区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1(呼吸器系、腎臓)

環境に対する有害性 水生環境有害性(急性):区分1
水生環境有害性(慢性):区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害
吸入すると生命に危険
発がんのおそれ
呼吸器系の障害
長期にわたる又は反復ばく露による肺の障害
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は良く手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【救急処置】

飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。
吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。
皮膚に付着した場合は、石けんと水でよく洗う。眼に入った場合は、水で十分に洗い流す。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗う。
上記いずれの場合も、身体に異常が起きた場合は、直ちに本品がピレスロイド系殺虫剤であることを医師に告げ診療を受けること。

【保管・返却】

直射日光の当たらない乾燥した涼しい場所に施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄の際は、各自治体の区分に従うこと
内容物または容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

その他の危険有害性:特に無し

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物

成分及び含有量:

成分	含有量	化学式	官報公示整理番号 化審法・安衛法	CAS番号
シフルトリン	<0.5%	C ₂₂ H ₁₈ Cl ₂ FNO ₃	3-4123	68359-37-5
グリコールエーテル系溶剤	<10%	-	7-97	9004-74-4
シリカ(非晶質、結晶質) ※軽石由来	約 70~75%	SiO ₂	(1)-548	14808-60-7
その他 ※軽石のシリカ以外の成分	残	-	-	-

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した部分を水、又は微温湯で洗い流しながら石けんを使ってよく洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛み続く場合には、速やかに医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低15分間洗浄する。
洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
眼の刺激が続く場合は医師の診療を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の診療を受ける。
可能であれば、吐き出させる
-

5. 火災時の処置

- 消火剤 : 散水、噴霧水、泡、粉末
- 特定の危険有害性 : 燃焼ガスには、有害ガス(窒素化合物、一酸化炭素)が含まれている恐れがあるので消火作業の際には、煙を吸引しないように注意する。
- 特定の消火方法 : 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-

6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には適切な保護具を着用し、漏洩物との接触や粉じんの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に流してはならない。
- 除去方法 : 飛散したものを掻き集めて、密閉できる容器に回収する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いは、保護具(メガネ、マスク、保護手袋、長袖の作業衣、作業帽、保護靴)を着用し、薬剤に出来るだけ触れないようにする。
発生した粉じんを吸入しないようにする。
- 注意事項 : 屋外のみで使用する
取り扱い場所の周辺での火気、高温物の使用は禁止する。

保管

- 適切な保管条件 : 容器は密封し吸湿させない。
乾燥した冷暗所に保管する。
食品、食器、飼料などと区別して、小児の手の届かない所に保管する。
-

8. ばく露防止及び保護処置

- 管理濃度 : 未設定
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 未設定
ACGIH : 未設定
設備対策 : 換気扇等の局所排気設備を設置し、速やかに換気が出来るような処置をとる。
取扱い場所の近くに、全身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける

保護具

- 呼吸用保護具 : 防じんマスク
目の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル
手の保護具 : 保護手袋
皮膚及び身体の保護具 : 長袖の保護衣
-

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 外観 : 淡褐色細粒
臭い : わずかに特異臭
比重 : 0.89
pH : データ無し
引火性 : データ無し。
自然発火性 : 常温で空気と接触しても自然発火しない。
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性 : 知見なし
避けるべき条件 : 知見なし
混触危険物質 : 知見なし
危険有害な分解生成物: 燃焼により、有害なガスが発生する恐れがある
-

11. 有害性情報

本剤のデータは無いので、参考のため以下に成分のデータを記す。

<シフルトリン>

- 急性毒性 : 経口 : LD₅₀ 500mg/kg ラット♂ 840mg/kg ラット♀
経皮 : LD₅₀ >5,000mg/kg ラット♂♀
吸入(ミスト) : LC 50 1.01 mg/L ラット♂ 1.02 mg/L ラット♀
皮膚腐食性・刺激性 : ウサギを用いた2件の試験において刺激性なし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: ウサギ 2 件の試験結果で、いずれも一次刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性: データなし
皮膚感作性なし モルモット

生殖細胞変異原生 : in vitro 及び in vivo 変異原性試験で陰性

発がん性 : ラットを用いた 2 年間の経口投与試験、マウスを用いた 23 ヶ月、18 ヶ月間の経口投与試験において腫瘍の発生率の上昇は認められていない

生殖毒性 : OECD-TG414 に準拠した経口投与によるウサギを用いた発生毒性試験において、母獣に体重増加抑制が認められる投与量 (60 and 180 mg/kg bw per day) においてより胚吸収が生じている

特定標的臓器・全身毒性

(単回暴露) : ラットに 0.405 mg/L/4h の吸入暴露で、舞踏アテトーゼ様の動作の持続、チアノーゼ、呼吸困難を伴う不規則呼吸、異常発声、閉眼状態での伏臥あるいは側臥が観察されている。

特定標的臓器・全身毒性

(反復暴露) : ガイダンスの区分 1 の用量で神経系への影響が見られる

吸入性呼吸器有害性: データなし

<天然鉱物(軽石)>

シリカ(非晶質、結晶質)を 73.7%(代表値)含有

12. 環境影響情報

本剤のデータは無いので、参考のため以下に成分のデータを記す。

<シフルトリン>

生体毒性

魚毒性 : コイ LC₅₀(96H) 0.004 µg/L

その他 : オオミジンコ EC₅₀(48H) 0.000061 µg/L

残留性/分解性 : データなし

生物蓄積性 : BCF 459

オゾン層への有害性 : オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を含まない。

13. 廃棄上の注意

残留物廃棄物 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 3077

品名： 環境有害物質(固体)

国連分類： 9

容器等級： III

海洋汚染物質： 該当

緊急時応急措置指針番号： 171

15. 適用法令

消防法： 非該当

PRTR法： 非該当 (シフルトリン 1%未満)

労働安全衛生法： 表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条):シリカ(政令番号 312)

16. その他の情報

参考文献

- 1)原料メーカーの安全データシート
- 2)化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 3)結晶質・石英安全データシート(安全衛生情報センター)
- 4)JIS Z 7253(2012) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

免責事項

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づき作成されており、新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。